

2014/7/1

しろひげ@Kurobane です。

7月になりました。

<夏の夜はまだ宵ながら明けぬる> とばかりに、朝早くから跳び起きて酔わせてもらった世界の祭典も、我が国にとっては残念な結果となりました。

世界と言えば、7月1日はカナダの独立記念日、数年来の友人に母国の記念日のいわれを教えてもらったことがあります。

それを聞いて、私は日本にもこの月に記念日がないものかとずっと探していたら、ようやく見つけました。

«「この味がいいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日»

俵万智さんの『サラダ記念日』です。

俵さんの天才ぶりを世に示した、七夕の前夜祭を詠った傑作です。

そうこうしているうち、別の作品が天から舞い降りるようにして私にヒットしたのです。

«文月や六日も常の夜には似ず» 芭蕉

日本には、俳句と短歌で、しかも古今の名だたる歌人、俳人に詠われた7月6日という記念日があったのでした。

今年のこの日はちょうど日曜日、皆さんはどのような記念日にしますか。

梅雨の明けるのが待ち遠しく思っている方、サッカーの結果に気落ちしておられる方、

それぞれにこの記念日を祝ってみてはいかがでしょうか。

この日を書き込めば、カレンダーはやがて真夏に向けて動き出します。

文月の名のとおり、皆さんからの素敵な文（ふみ）をお待ちしております。

黒羽根整形外科

黒羽根 洋司